

日本財団

みらいの

福祉施設建築

プロジェクト



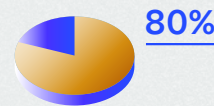
新しいチャレンジ

日本財団が2021年に開始した助成プログラムです。みらいのまちと福祉のためにぜひチャレンジしてください。



申請は協働で

ポイントは福祉と建築のコラボレーション。申請は事業実施団体と設計者の協働によって行っていただきます。



最大補助率 80%

1事業あたりの補助率は最大80%。福祉実践をさらに前へ進めるための取り組みを全力でサポートします。

第3回 募集期間

2023年

6/1 (木)

9/15 (金)

建築が変わり、福祉が変わり、まちが変わる。福祉施設が、地域に開かれた魅力ある場所となり、地域でより愛され、多様な人たちとともに地域と福祉のみらいをつくっていく。「日本財団 みらいの福祉施設建築プロジェクト」は、建築デザインを重要な要素として位置づけ、福祉施設のさらなるアップデートとこれからの地域社会づくりをサポートするための助成プログラムです。事業実施団体と設計者の協働による建築デザイン提案を含む建築関連事業プランを募集します。



日本財団 미래の福祉施設建築プロジェクト

日本ではこれまで時代のニーズにあわせた多くの福祉施設が設置されてきました。日本財団においても、こうした社会のニーズに対応するべく、40年以上にわたり、時代の要請に応じた数多くの福祉施設の建築助成を行ってきました。

近年、少子高齢化や多様性の尊重、コミュニティの希薄化といった社会背景の変化に伴い、福祉施設は、多機能化や地域貢献への動きが活発となり、地域福祉を担う拠点としての役割が求められています。少しずつではありますが、地域の中に設置し利用者と地域の交流を促したり、利用者や働くスタッフのことを考えたりするデザインの施設も増えてきました。

本プロジェクトは、つながりの希薄化などの地域社会の構造の変化を見

据え、福祉施設が、地域課題を解決するなどの地域づくり・まちづくりの核となる「福祉施設3.0」となることを目指します。そのためには、サービスを充実させニーズに応えていくことに加え、場所としての魅力や居心地の良さに繋がる建築デザインの力が重要です。福祉施設に、建築デザインの力が合わさることで、地域にひらかれた魅力ある場所となり、地域社会に貢献し、地域社会から愛され、地域福祉の拠点となってほしいと考えます。

福祉施設が、施設を利用する方や家族、そこで働くスタッフ、地域の方々にとって誇りとなり、地域にひらかれた、だれにとっても身近で重要な場所であるという考えを広く周知し、これからの福祉のあり方を考えるきっかけにもなることも期待しています。

第3回 募集概要

ここでは要点のみご案内します。詳細は特設サイトでご確認ください。

募集期間

2023年6月1日(木) 11:00
～2023年9月15日(金) 17:00
※ 申請は2023年8月1日(火)より可能となります

助成決定

2024年3月

対象団体

日本国内にて以下の法人格を取得している団体

- 一般財団法人
- 社会福祉法人
- 一般社団法人
- 特定非営利活動法人
- 公益財団法人
- 医療法人
- 公益社団法人

対象事業

福祉事業を行う施設や事業所の建築関連事業
(新築/改修・増築等/外構工事)

※ 福祉事業とは、社会福祉法に定める第一種社会福祉事業および第二種社会福祉事業を指す
※ 同建物内に制度外のものが含まれている、複数の制度を活用しているなども可。全体が一体のプランであれば隣接する複数の建物が含まれていても可

助成額

上限金額 …… 事業規模に見合う適正な金額を助成
最大補助率 …… 80%
助成件数 (目安) …… 10事業程度

申請条件

- ① 事業実施団体と設計者が協働すること
- ② 本プロジェクトの趣旨に沿ったものであること
- ③ 募集要項の記載内容を遵守すること

申請方法

本プロジェクト特設サイトで募集要項をダウンロードし、詳細を確認のうえ、申請してください。
事業実施団体による各種書類の提出と、設計者による設計デザイン案の提出が必要です。

審査方法

1次～2次審査：
日本財団および審査委員による書類審査
(募集締切後～2023年11月下旬)

最終審査：
事業実施団体と設計者によるプレゼンテーション
(2023年12月17日・18日)

審査委員



審査委員長

古谷 誠章 ふるやのふあき

建築家/早稲田大学 教授/NASCA 代表

そのほかの審査委員については本プロジェクトの特設サイトをご覧ください。



新たにスタートする
「ミーティング」にも
ぜひご参加ください

日本財団 未来の福祉施設建築ミーティング-フォーラム-

2023年6月24日(土) 11:00～18:10 スクランプルホール(東京都渋谷区) ※リアルタイムのオンライン配信あり

パネルディスカッション①「設計者立場と事業者立場から考える福祉施設設計のプロセス」、パネルディスカッション②「福祉施設の『前提』を疑い、よりよい支援を行う福祉のあり方」、パネルディスカッション③「未来の福祉施設をどのように実現するか」や、本プロジェクトの説明会などのプログラムで行います。福祉事業者や建築家との交流の機会もあります。ぜひご参加ください。

日本財団 未来の福祉施設建築ミーティング-スタディー-

2023年7月に全3回のオンライン開催を予定

詳細は本プロジェクトの特設サイトで

募集要項や申請に必要な各種様式、これまでの助成決定事業者や審査委員のインタビューの動画などを順次アップします。募集や助成に関する「よくある質問」や「ミーティング」の情報もこちらから。



fukushi-kenchiku.jp

「日本財団 未来の福祉施設建築プロジェクト」
は、日本財団が運営しています。

